

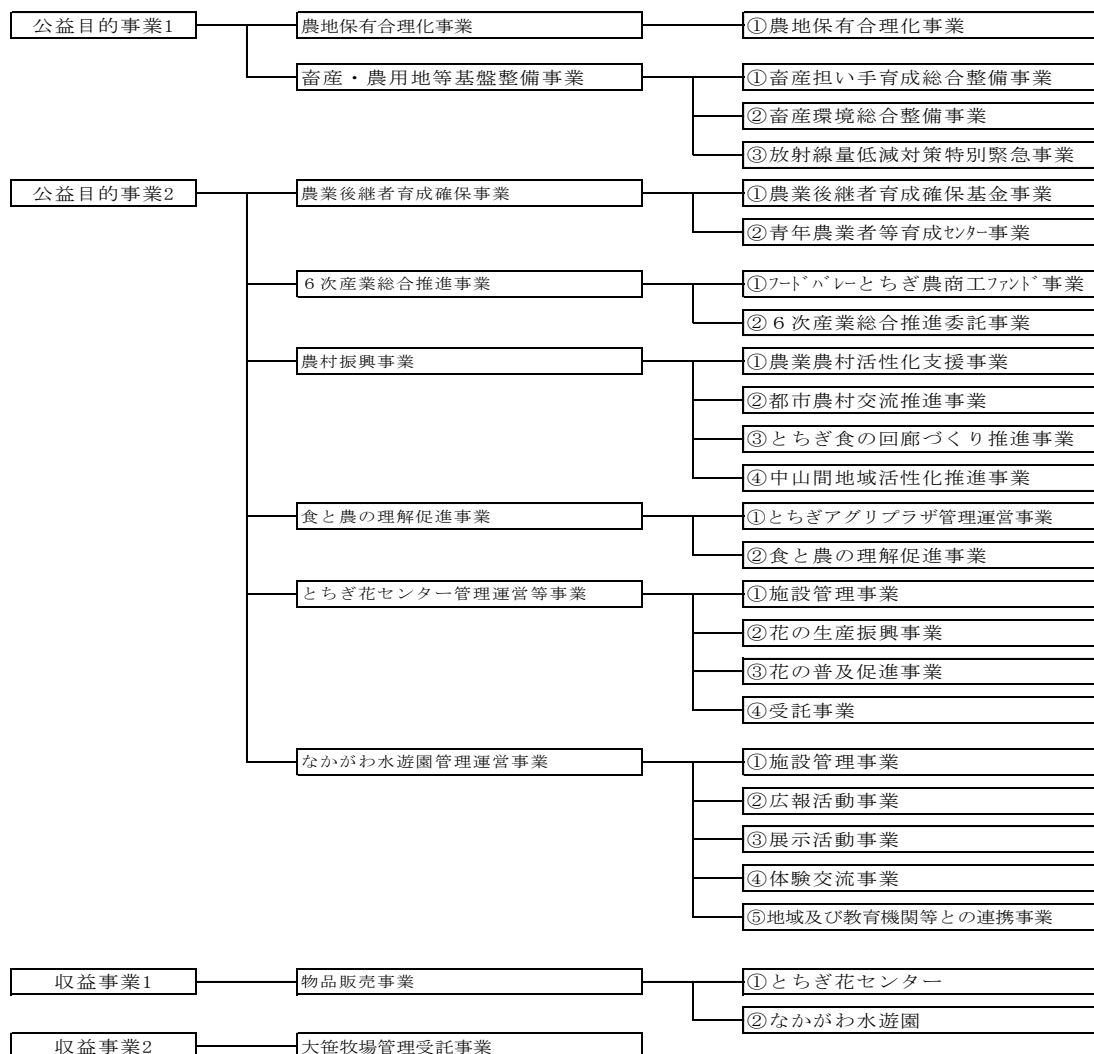
## ○ 平成25年度基本方針

農業の発展と農村地域の振興を図るため、公益財団法人としての役割を発揮し、国及び県等関係機関・団体との連携を図りながら事業を実施する。

特に、担い手の高齢化や生活スタイルの変更等、農業・農村を巡る環境が大きく変化する中、農業が魅力ある産業として持続的に発展していくために、公社に蓄積したノウハウやネットワーク機能などの強みを生かし、平成23年7月に策定した「栃木県農業振興公社戦略ビジョン」に即しつつ事業に取り組んでいく。

また、公益財団法人の運営に当たっては、事業の円滑な実施及び経営基盤の強化に取り組むとともに公益性を確保しつつ、公社の使命を果たしていく。

## ○ 平成25年度事業体系



# I 農地保有合理化事業（公1事業）

【予算額：1,026,164千円】

認定農業者等への計画的な農用地利用の集積、農用地等の有効利用等を図るため、県・市町・農業委員会・農地利用集積円滑化団体等との連携の下に、社会・経済情勢の変化や農用地移動の動向等に即しつつ、農地保有合理化事業を実施する。

## 1 農地保有合理化事業

### (1) 農地売買等事業

規模縮小を志向する農家等から農用地を買入れ、又は借入れ、規模拡大を志向する認定農業者等に売渡し、又は貸付けることを通して、農用地の利用集積を促進する。

#### ア 売買（買入）

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)
農地保有合理化事業	288	115.0	805,000
担い手支援農地保有合理化事業	200	80.0	560,000
公社営農地保有合理化事業	88	35.0	245,000

#### イ 売買（売渡）

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)
農地保有合理化事業	316	137.5	969,694
担い手支援農地保有合理化事業	228	101.8	715,390
公社営農地保有合理化事業	88	35.7	254,304

#### ウ 貸借（借入）

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)
担い手農地保有合理化事業	10	10.0	7,150
一括前払	5	5.0	6,500
年払	5	5.0	650

#### エ 貸借（貸付）

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)
担い手農地保有合理化事業	10	10.0	1,300
一括前払	5	5.0	650
年払	5	5.0	650

### (2) 農地利用集積連携事業

農地集積の円滑な推進のため、会議や研修等を実施し、農地利用集積円滑化事業と農地保有合理化事業の連携強化を図る。

栃木県農地利用集積円滑化団体連携会議の開催

月	会議名	内容
6月	全体研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地流動化新任職員研修</li> <li>・税務相談会</li> <li>・情報交換会</li> </ul>
11月	ブロック別研修会 (各振興事務所単位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関団体との連携についての検討会</li> <li>・情報交換会</li> </ul>

(3) 新規参入者農地集積プランモデル事業

「就農支援ネットワーク会議」の中で農地情報の収集を図り、そこでの情報を元に公社を通して農地の貸借をした新規就農者に対し、その貸借料を助成し、新規就農者への農地の確保を支援する。

農地の借入・貸付

件数	面積	金額	備考
5件	2.5ha	325千円	0.5ha/65千円/1件

## II 畜産・農用地等基盤整備事業（公1事業）

【予算額：1,194,410千円】

生産性の高い農業経営の確立を図るため、県・市町等の関係機関や農業団体と連携し、畜産生産基盤の整備や環境整備等に関する次の事業を実施する。

### 【総括表】

(単位：千円)

No	事業名	地区名	事業期間	全体事業費	H25 事業費
1	畜産担い手育成総合整備事業	① 那須北Ⅱ	H21～H26	910,584	365,780
		② 那須北Ⅲ	H21～H26	451,754	102,947
		③ 日光高原	H25～H28	900,942	125,936
		小計			2,263,280
2	畜産環境総合整備事業	栃木北西	H22～H26	903,120	232,983
3	放射線量低減対策特別緊急事業	日光市他	H23～H26	533,658	258,200
合計				3,700,058	1,085,846

### 1 畜産担い手育成総合整備事業

畜産物の生産地として今後安定的な発展が見込まれる地域において、生産性の高い経営体の育成とこれを核とした畜産主産地の再編整備を進めることにより、畜産の合理的かつ安定的な発展を積極的に推進するため、草地・畜舎・家畜排泄物処理施設等の整備事業を実施する。

No	地区名	予算区分	施工箇所	事業参加者	事業費(千円)	主な事業内容
1	那須北Ⅱ (H21～H26)	H24 繰越	那須塩原市	1名	218,780	畜舎整備 1棟 酪農設備 1式 [家畜排せつ物処理施設 1棟]
		H25	那須塩原市	2名	147,000	飼料畑造成 0.26ha 飼料畑整備 7.59ha 施設用地造成 0.60ha 畜舎 2棟 家畜排せつ物処理施設 1棟 酪農設備 1式
2	那須北Ⅲ (H21～H26)	H24 繰越	那須町 那須塩原市	2名	79,947	施設用地造成 0.10ha 畜舎整備 3棟 家畜排せつ物処理施設 2棟
		H25	那須塩原市 那須町	4名	23,000	飼料畑造成 2.00ha 飼料畑整備 2.08ha

3	日光高原 (H25～H28)	H25	日光市 上三川町 宇都宮市	4名	125,936	飼料畑造成 2.75ha 飼料畑整備 5.78ha 施設用地造成 0.50ha 畜舎整備 1棟 家畜排泄物処理施設 3棟 飼料貯蔵施設 1棟
合計				13名	594,663	

## 2 畜産環境総合整備事業

将来にわたり畜産主産地としての発展が期待される地域において、総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物等の地域資源のリサイクルシステムを構築することにより、畜産経営に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化に資する。また、生産現場である草地等について、草地景観等の多面的機能を活用し、都市及び地域住民の憩いの場・教育の場として提供しつつ、地域の自然・環境に配慮した草地整備を行い、地域畜産の持続的な発展と地域社会の活性化を図る。

地区名	予算区分	施工箇所	事業参加者	事業費 (千円)	主な事業内容
栃木北西 (H22～H25)	H24 繰越	那須町 鹿沼市 塩谷町	那須町 鹿沼市 栃木県	111,183	・牧柵 8,910m ・牛舎 1棟
	H25	鹿沼市 矢板市 那須塩原市 那須町 塩谷町	鹿沼市 矢板市 那須塩原市 那須町 栃木県	121,800	・牧場草地整備 4.29ha ・遊歩道 570m ・牧柵 6,920m ・堆肥舎 1棟
合計				232,983	

## 3 放射線量低減対策特別緊急事業

東日本大震災による原子力災害により汚染された公共牧場等の永年牧草吸収抑制対策の事業を実施し、放射線量の低減を図る。

牧場名	予算区分	施工箇所	事業費 (千円)	主な事業内容
県内公共牧場等	H25	栃木県ほか	258,200	・永年牧草地の反転耕・深耕等による吸収抑制対策

### Ⅲ 農業後継者育成確保事業（公2事業）

【予算額：19,601千円】

次代を担う優れた青年農業者等の育成・確保を図るため、県及び関係機関・団体等との連携のもとに、農業後継者育成確保基金事業並びに青年農業者等育成センター事業を実施する。

#### 1. 農業後継者育成確保基金事業

青少年の就農促進と青年農業者の育成を図るため、県・市町・農業団体・農業者等の協力で造成された農業後継者育成基金の運用益と一部基金の取り崩しにより、次に掲げる事業を実施する。

##### (1) 国際化対応サポート事業

国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者を育成するため、就農希望の青少年（生徒）や青年農業者に対する海外派遣を支援する。

事業名	事業内容
1. 農業学生海外研修支援事業	国際化に対応可能な青年農業者を確保するため、農業高校生の海外研修事業を支援する。
2. 海外長期研修支援事業	農業先進国で優れた技術等を習得するため、概ね1年以上の農業研修を行う青年を支援する。
3. 海外短期派遣研修事業	国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者を育成するため、農業先進国に研修団を派遣し、青年農業者の資質向上を図る。

##### (2) 担い手チャレンジ支援事業

青年農業者等を対象に、農業及び農家生活等に関する知識・技術の向上を図るための研究及びプロジェクト活動を支援する。

事業名	事業内容
経営発展活動支援事業	青年農業者又は青年農業者組織が行う技術開発等の課題解決のための調査・研究活動を支援する。

##### (3) 組織活動サポート事業

青年農業者の仲間づくりや自己研鑽を図るため、自主的な組織活動を支援する。

事業名	事業内容
1. 組織活動支援事業	青年農業者自らが組織し、積極的な活動を行っている組織を支援する。
2. 青年農業者地域貢献支援事業	青年農業者の組織が行う、地域に対する奉仕活動や活性化活動、子供たちへの農業の理解促進活動を支援する。
3. 全国技術交流派遣事業	全国組織等が行う研修会へ青年農業者を派遣し、県外青年農業者との交流を行い、技術の向上および経営者としての資質の向上を図る。

##### (4) いきいき農業・農村情報発信事業

青年農業者が自信と誇りを持って農業に取り組むことができるよう、関係機関・団体等の緊密な連携を図り、農業・農村の理解促進のための活動を支援する。

事業名	事業内容
青年農業者と消費者の交流促進支援事業	県内の青年農業者が一堂に会し、消費者に対し農業・農村の素晴らしさ等の情報を発信する活動を支援する。

## 2 青年農業者等育成センター事業

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者に対し、就農促進啓発、就農相談活動並びに就農支援情報（農地情報等）の収集、蓄積、情報提供を行うとともに、認定農業者に対し、就農支援資金の貸付を行う。

### (1) 就農支援事業

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者を対象に、就農促進啓発や就農相談活動等を実施するとともに、就農支援情報（農地情報等）の収集、蓄積、情報提供を行い、就農促進を図る。

事業名	事業内容
1. 就農促進啓発事業	新規就農希望者に対する就農促進啓発を行うとともに就農相談活動、新規就農フォーラム、現地セミナー等を実施する。
2. 就農サポート事業	就農支援情報（農地情報等）の収集、蓄積、並びに情報提供を行う。

### (2) 就農支援資金貸付事業

認定就農者が就農計画に従って就農するために必要な資金（無利子）を貸付け、円滑な就農を促進する。

#### ① 就農研修資金

認定就農者が就農計画に従って就農するために必要な能率的な農業の技術又は経営方法を、実地に習得するための研修資金を貸し付ける。

#### ② 就農準備資金

認定就農者が就農計画に従って就農するために必要な就農先調査、住居移転、その他資格取得等就農準備活動に必要な資金を貸し付ける。

資金の種類	内容	貸付計画
1. 就農研修資金	(1) 農業大学校、民間研修教育施設における研修[50千円×研修月数]	1 件
	(2) 国内における先進農家等研修[150千円×研修月数]	1 件
	(3) 国外における先進農家等研修（1年間）[150千円×研修月数]	1 件
	(4) 在宅での指導者による研修[1件：2,000千円]	2 件
2. 就農準備資金	就農準備のための資金[1件：2,000千円]	1 件
合 計		6 件

#### IV 6次産業総合推進事業（公2事業）

【予算額：14,800千円】

農業者が農業農村に存在する豊かな「地域資源」を活用し、農業者による生産・加工・販売の一体化による6次産業（1次産業×2次産業×3次産業）の創出と農商工連携による地域ビジネスの創出を促し、農村の活性化を図る取組みを支援する。

##### 1. フードバレーとちぎ農商工ファンド事業

県内の中小企業者と農林漁業者との連携体が行う取組を支援する。

項目	事業内容
1. 販路開拓の支援	新商品等の販路拡大の取組を推進するため、商談会等の出展を支援する。
2. 研究会の開催	注目される食材をテーマに農商工連携を推進するための研究会を開催する。
3. 若手起業者の育成	若手起業者を対象に研究会を行う。

##### 2. 6次産業総合推進委託事業

農業の6次産業化を推進するため、6次産業化サポート体制を整えてプランナーを派遣し、総合的なサポートを行うとともに、研修会や交流会等の取組みを支援する。

項目	事業内容
1. プランナーの派遣	6次産業プランナーを派遣し、農業者の生産から商品開発、事業化まで一貫して指導を行う。
2. 6次産業への取組支援	農業経営の多角化や地域の産業連携等を支援する相談窓口を設置するとともに、交流会を開催する。
3. 6次産業化実践塾の開設	新たな農業を創造できる優れた経営感覚の農業者等を育成するため、実践塾を開催する。



## V 農村振興事業（公2事業）

【予算額：19,742 千円】

農村地域の活性化を図るため、経営構造対策事業を実施した市町等に対し、事業実施後の点検や評価、施設の有効活用に向けた適切な運営の指導、助言を行うほか、農業の多面的な機能等を理解してもらうための各種コンクールを開催する。

また、農村地域が持つ自然環境や伝統文化、多彩な農産物などの豊かな地域資源を生かしながら、創意と工夫による都市と農村の交流、食の回廊づくり、中山間地域における農地保全活動等の支援など、魅力と活力のある農業・農村づくりを支援する。

### 1. 農業農村活性化支援事業

#### (1) 経営構造対策推進事業

経営構造対策事業等の円滑かつ適正な実施及び確実な効果の発現を図るため、指導助言体制の整備、情報の収集及び提供、事業の点検評価及び効果の発現に向けた改善方を支援する。

項目	事業内容
1. 経営構造コンダクターの設置及び派遣	農業経営・流通・加工・交流等の専門家を経営構造コンダクター及びアドバイザーとして設置し、派遣指導を行う。 コンダクター 1名・アドバイザー 15名
2. 推進会議の開催	事業説明会・指導推進会議・アドバイザー会議等を開催し、活動方針の検討、事業の啓発を行う。
3. 情報の収集・提供	塾だより「とちぎ発元気農業」の発行及び事業推進に必要な各種情報の収集提供を行う。
4. 経営分析指導	事業により整備した諸施設の運営等の実態把握及び助言指導を行う。
5. 事業の点検・評価	目標達成に向けたプログラムの達成状況の点検評価及び助言指導を行う。

#### (2) 農業農村活性化対策事業

農業・農村の活性化及び農業の持つ多面的機能等の理解促進等を図るため、地域農業振興アドバイザーを派遣するとともに、研修会、各種コンクール等を開催する。

項目	事業内容
1. 地域活性化の取組支援	地域農業振興アドバイザーの派遣やセミナーの開催により、農業農村の活性化を支援する。
2. 農業農村への理解促進	農業農村児童画コンクール、写真コンテスト等を開催するとともに、優秀作品の展示を行う。

## 2. 都市農村交流推進事業

### 食と農交流促進事業

直売所や農村レストラン等が消費者から信頼され、地域の活性化活動拠点として、更に発展するための支援を行う。

項目	事業内容
1. 調査分析等	都市農村交流施設等活性化推進員を配置し、産物直売所等活性化施設の調査分析及び指導、助言を行う。
2. 情報発信	都市農村交流施設だより等、情報を発信する。

## 3. とちぎ食の回廊づくり推進事業

### とちぎ食の回廊魅力向上推進事業

「とちぎ食の回廊」の魅力向上を図るため、とちぎ食の街道連絡会を運営するとともに、県と各食の街道が連携したイベント等を開催する。

項目	事業内容
1. 連絡会の開催	「とちぎ食の街道連絡会」を企画・運営する。
2. 連携イベントの実施	「とちぎ食の回廊」地域連携イベントの支援を行う。
3. 知名度アップの企画	「とちぎ食の回廊」のPR標識設置を行う。

## 4. 中山間地域活性化推進事業

### (1) とちぎ夢大地応援団推進事業

中山間地域の多面的機能の維持保全を目的に、地域住民と都市住民等の協働による農地保全活動の推進と、自然豊かな農村を守るため次代を担う若い世代の育成を図る。

項目	事業内容
1. 広報活動の実施	夢大地応援団ボランティア活動の情報収集と発信
2. 企業等地域のニーズに応じた支援	協働活動受け入れ地区や企業に対する支援
3. 研修会等の開催	研修会・セミナーの開催
4. ボランティア活動実施支援	ボランティア活動を実施する地域の活動支援を行う。
5. カレッジ活動の開催	夢大地応援団カレッジ活動を開催する。

(2) むらおこしプランナー事業

中山間地域の農地・土地改良施設の保全や地域住民活動の促進を図るため、次世代の地域リーダーとなりうる人材を育成する。

項 目	事業内容
1. 研修会の開催	中山間地域の活力ある地域づくりを促進するため、地域住民活動の指導的立場となる者や、中核を担う意欲のある者を対象に、研修会を開催する。

## VI 食と農の理解促進事業（公2事業）

【予算額：10,007千円】

多くの県民に対し、食べものの背景にある「いのち」をつなぐ農業の重要性や健全な食のあり方を伝えるなど、食と農に関する理解を促進する取組を行う。

### 1. とちぎアグリプラザ管理運営事業

県民の食料・農業・農村に対する理解を深め、農業農村の振興を図るため、とちぎアグリプラザを拠点とし食と農の理解促進のための事業を実施する。

事業名	事業内容
とちぎアグリプラザ管理運営事業	① 施設の管理運営（地上3階、延床面積1,804.72㎡） ② 食と農に関する相談・講座開催・情報提供 ③ 食と農の理解促進に資する事業

### 2. 食と農の理解促進事業

多くの県民に食と農に関する関心や興味の高揚を図るとともに、食育推進に資する事業を実施することにより食育の実践を促進するなど、とちぎの豊かな食と農の理解の輪を広げる。

事業名	事業内容
1. 「とちぎ食育応援団」活用促進事業	「とちぎ食育応援団」のより一層の実践的活用を図るため、未就学児等とその親子を対象とした「とちぎっ子出前講座」を引き続き実施する他、地域における連携・活用の促進につながるようなPR情報誌の効果的な編集及び配布を行い、地域における食育を推進する。また、県民運動としての食育推進を図るため、民間協働の観点から、企業応援団員の活動状況を把握し、今後の効果的な連携・活用策を検討する。 ①とちぎっ子食育出前講座等応援団活動（保育所・幼稚園等への応援団の派遣） ②活動力アップ研修会の開催（食育活動における資質向上のための研修会） ③活動PR情報誌の作成・配布（応援団への情報提供） ④応援団の募集・登録・名簿作成 ⑤企業応援団員の活用促進（新たな連携強化に向けた検討など）
2. 食と農の理解促進プロモーション事業	県との連携の下、当公社の強み（人的・組織的ネットワークや事業ノウハウ等）を最大限に活用した食と農の理解促進プロモーションを展開し、多くの県民に食と農に関する関心や興味の高揚を図ることにより、本県農業の振興・活性化に資する。 ①「つなごう食と農実践講座」開催（「食と農の伝道者」としての人材育成に資する講座） ②市町食育推進計画策定支援（市町食育推進計画の策定支援に向けた取組）

### 3. とちぎアグリプラザまっりの開催

地域住民に対し、アグリプラザの周知を図り、食と農に関する情報を提供するために、アグリプラザ入居団体と連携して、とちぎアグリプラザまっりを開催する。

## Ⅶ とちぎ花センター管理運営等事業（公2事業）

【予算額：152,600千円】

本県における花の振興と、花とのふれあいによる心豊かな人づくりを目的に、県が岩舟町に設置した「とちぎ花センター」の管理運営業務を実施する。

また、事業を通して農業の理解促進を図るとともに、地域活性化の拠点施設として近隣施設と連携しながら県民等との交流を推進する。

### 1. 施設管理事業

(1) 管理建物 鑑賞大温室・展示温室他15棟 6,392㎡

(2) 敷地 花壇等 3.1ha

項目	平成25年度目標人数
入園者数	360,000人（鑑賞大温室有料入館者数 28,400人）

### 2. 花の生産振興事業

展示温室で県内生産者のPRや生産状況の紹介を行うほか、センターを会場に生産者のイベントや消費者との交流を図り、生産に対する理解を深め、県産花きの振興を図る。

また、パンジーやスイセンの品種展示や人気調査の実施、提案型の植栽展示、中小花壇での少量多品種の植栽を行い、消費拡大を喚起する。

### 3. 花の普及促進事業

憩と安らぎを感じてもらえるよう見て楽しむ企画展のテーマ展示や大花壇のデザイン植栽、自ら参加する園芸教室を開催するほか、各種イベントを開催する。

また、高齢者や障害者でも楽しめる園芸福祉活動、植物を通じた体験型教育である花育活動に取り組み、園内はもとより、市町や公民館等と連携した出張講座を開催し普及に努める。

事業実施にあたっては、ボランティアと協働して実施し、地域に根ざした運営を行う。

項目	事業内容
1. 企画展の開催	鑑賞大温室第1企画展示室において年7回開催する。 ①美しい洋ランの世界 H25.2.26～5.6 ②梅雨を彩るアジサイ展 H25.5.8～6.9 ③カラフルなカラーリーフプランツ展 H25.6.11～7.21 ④不思議な食虫植物展 H25.7.23～9.1 ⑤水辺の植物展 H25.9.7～11.17 ⑥シクラメンとポインセチア展 H25.11.19～12.23 ⑦早春の花展 H26.1.2～2.23
2. 大花壇等	大花壇や立体花壇では、年間3回のデザイン植栽をボランティアとの協働により行う。また、中小花壇では、新品種や新品目を先取りしながら、少量多品目による展示植栽を行う。
3. 園芸福祉・花育活動	近隣の老人ホームや身障者施設入所者及び保育園や幼稚園児等を対象に、植物や土にふれあう活動を行う。

4. 園芸教室の開催	子供から大人まで楽しめる体験型の教室を年23回開催（うち家庭の日の親子体験教室は12回）する。また県内市町等と連携した出張講座を実施する。
5. イベントの開催	5大イベント+特別企画イベントを開催する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・春のフラワーフェスティバル H25. 5. 3～6</li> <li>・花センターde トロピカルナイト H25. 7. 27～28</li> <li>・秋のフラワーフェスティバル H25. 10. 12～14</li> <li>・クリスマスファンタジー H25. 12. 14～15、21～23</li> <li>・ヒスイカズラ&amp;早春の花まつり H26. 3. 21～30</li> </ul> 夏休み特別企画イベント「妖怪大集合」H25. 8. 16～18 ミニイベント（こいのぼり、七夕、ハロウィン等）を実施する。
6. ボランティア養成	友の会（パンジークラブ）の会員及びバラの愛好家を対象にした2カ年の講座を実施し、地域で花の普及に活躍できるボランティアを育成する。また、イベント等はボランティアとの協働で開催する。
7. 園芸相談	植物の栽培管理や病害虫診断等に係る相談に随時対応する。

#### 4. 受託事業

花の普及を図るためのイベント飾花、県産花き PR 展示、講師派遣度など外部からの委託事業を受託する。

#### 5. 第Ⅲ期指定管理者公募への応募

Ⅷ なかがわ水遊園管理運営等事業（公2事業）

【予算額：429,706千円】

那珂川の豊かな水と緑に親しみ、水生生物とふれあう場を提供することにより、その沿川地域の自然と文化についての県民の理解を深めるとともに、都市と農村との交流の促進を図ることを目的に、県が大田原市に設置した「栃木県なかがわ水遊園」の管理運営業務を実施する。

また、水遊園周辺の農地を活用した体験事業の充実や、地域資源を活用した商品の開発及び地場産業や観光の振興等を積極的に行い、那珂川沿川地域の活性化を推進するため展示活動事業・体験交流事業ともリンクさせた「プロジェクト那珂川」及び「プロジェクトAMAZON」を展開する。

1. 施設管理事業

栃木県なかがわ水遊園における各種施設の維持管理を行う。

(1)管理建物 おもしろ魚館（展示ゾーン及び体験交流ゾーン） 約6,000㎡

(2)公園施設 芝生広場・お魚ふれあいステーション・水の広場・公園サービスステーション

項目	平成25年度
おもしろ魚館入館者数	目標入館者数 250,000人（有料入館者数 160,200人）

2. 広報活動事業

水遊園の展示や体験講座、イベント情報を各メディア・行政・教育機関等に配信するほか、集客施設やスポーツの試合などでPR活動を積極的に展開し、水遊園への集客につなげる。併せて、来園者が周辺地域を周遊するよう地域情報の発信を行うことで地域活性化に貢献する。

3. 展示活動事業

「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」をテーマに、県内に生息する魚を中心とした水生生物等の展示・解説や調査・研究活動、普及啓発活動をとおして、観覧者が生物や自然への理解と関心を深めていく「進化する展示」を目指す。また四季のイベントを開催し集客力も高める。

項目	事業内容
1. 常設展示	那珂川水系の魚や水産試験場の研究成果など地域の水生生物への理解と関心を深める展示と、アマゾン、グレートバリアリーフの魚など生物多様性のすばらしさを表現する展示などあわせて300種2万点の展示生物を飼育管理する。
2. 企画展	春：おさかな万博～世界の川からこんにちは～ H25.3.5～5.6 夏：世界のカエル大集合（仮称） H25.7.13～9.1 冬：透明標本すいぞくかん（仮称） H25.11.29～H26.1.19 春：恐るべし！ハンター大集合（仮称） H26.3.4～5.11
3. 解説プログラム	おもしろ魚教室：子どもたちに生き物への興味をもたせる解説プログラム スポットガイド：解説しながらアマゾンの魚たちへ給餌するプログラム バックヤードツアー：水族館の裏側をガイドするプログラム
4. プロジェクトAMAZON	話題性と発展性のある展示をめざして魚類だけでなく両生類、爬虫類、哺乳類の展示に取り組む。

5. イベント	春・初夏・夏・秋・冬・初春の6シーズン毎に季節感のある各種イベントを開催する。来園者サービスの一環として夜8時までの開園時間を延長しナイトビューを年6回開催する。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------

#### 4. 体験交流事業

「地域と心のふれあい」をコンセプトに、地域のインストラクターの指導のもと、地元産の原材料を活用した地域の伝統料理や伝統工芸など誰でも手軽に体験できる講座を開催する。また、地域の水生生物や自然に対する興味と関心を深められるような体験講座を開催する。

項 目	事 業 内 容
1. おさかな研究室	うろこの観察、魚の身体測定・解剖・採卵、川の中の昆虫採集など魚や水生生物等の観察実験講座
2. 味わい工房	ピザ、スイートポテト、こんにやくゼリー、まんじゅう、パンなど地域の農産物を活用した調理加工講座
3. 創作工房	竹細工、木工細工、石絵、まゆクラフト、フラワーアレンジメントなど地域の伝統工芸等講座
4. 釣り池	マス釣り（12～5月）及び五目釣り（通年）、ザリガニ釣り（夏季）を常駐インストラクターの指導で初心者でも安心して楽しく釣り体験
5. その他の事業	写生コンクール作品展：H25. 9. 27～10. 23／写真コンテスト作品展：H26. 2. 1～2. 23

#### 5 地域及び教育機関等との連携事業

那珂川沿川地域活性化の拠点施設としての役割を担うため、地元自治体・関連施設、地域住民等と連携し、地場産業・観光の振興等地域発展を図るため、なかがわ水遊園が中心となり、地域資源の積極的な紹介や集客のための企画をとおして地域活性化につなげる。

また、学校授業のサポートや職場体験など教育機関との連携事業にも積極的に取り組む。

項 目	事 業 内 容
1. 那珂川大感謝祭	H25. 9. 15開催。地域の商工観光団体や那珂川あゆ街道など食の街道関連団体の出店や水産試験場の公開講座など周辺施設の紹介を行う。
2. 出張授業	地元の小学校等へゲストティーチャーとして赴き、ミヤコタナゴやイトヨなど地域にすむ水生生物に関する授業を行う。
3. プロジェクト那珂川	那珂川での自然体験活動や清掃活動を地域の各種団体と共同で開催する。
4. おさかな試食会	伝統料理や創作料理など様々な魚料理の試食会を開催する。
5. 新商品開発事業	那珂川のアユやヤシオマスなど地域の食材を活用した新商品を開発する。
6. 調査研究活動	ミヤコタナゴ再導入、シモツケコウホネ調査活動を行う。
7. 300万人達成記念事業	オリジナル曲のお披露目や地域の特産品のプレゼントキャンペーンなどを企画する。



8. ホスピタリティ事業	①笑顔でおもてなし②花と緑でおもてなし ③遠足のおもてなし ④公園でのおもてなしにより、親しまれる水遊園をつくる。
--------------	-----------------------------------------------------------

6. 第Ⅲ期指定管理者公募への応募

収益事業

公益性を発揮するための財源を確保するため、次の事業を行う。

### **1. 物品販売事業（収1事業）**

とちぎ花センター及びなかがわ水遊園で、関連商品や飲食物の販売を行い、来園者に対しサービスの提供に努める。

### **2. 大笹牧場管理受託事業（収2事業）**

牧場の適正な管理を行い、畜産振興のための基盤整備を支援する。